

インターネットと人権

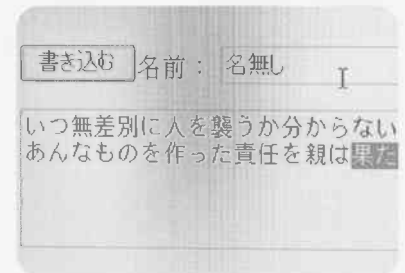
企画意図

いま、私たちの生活のなかでインターネットは欠かせないものになっています。さまざまな情報を瞬時に入手することができ、遠く離れた多くの人びととの間でも簡単にコミュニケーションをとることができます。生活スタイルさえインターネットの影響で変わりつつあります。しかし、便利さの反面、インターネットに関わるいろいろな問題点も指摘されています。インターネットは匿名性が高く情報伝達も速いということもあり、重大な人権侵害を引きこす事例も後を絶ちません。このビデオでは、インターネットに関して起こっている幾つかの実際の人権侵害を取材し、事件の背景やインターネットの特性について考えていきます。そして、情報化社会のなかで人権と向き合うために私たちがどうすべきか探ります。

内容

インターネットは便利な存在だが、使い方を誤ったり悪意がなくても、人を傷つける「凶器」になりえる。インターネットの特性を悪用した、社会的弱者といわれる人々に対する人権侵害事件も多発している。財団法人インターネット協会で受け付けている相談の中には、女性や青少年に対する深刻な人権侵害事例がある。また、在日コリアンの人びとに対する差別的な書き込みや、障害者、部落差別についての人権侵害事例なども起こっている。

このビデオでは、こうした人権侵害のそれぞれの当事者に、状況や思いなどを語っていただく。こうした人権侵害は、弱者だけではなくごく普通に生活している人びとに対して起こることもある。分娩中に亡くなった女性に関するバッシングについて、当事者の声を聞く。ネット被害を防ぐために私たちがどう考えるべきか、新潟青陵大学の碓井真史教授のお話も伺いながら、問題提起していく。



■協力

社団法人 尼崎人権啓発協会
財団法人 インターネット協会
社団法人 大阪国際理解教育研究センター
特定非営利活動法人 中部障害者解放センター
ニューメディア人権機構
部落解放同盟 兵庫県連合会
新潟青陵大学 大学院教授 碓井真史
奈良女子大学 文学部教授 栗岡幹英



財団法人 インターネット協会
大久保 貴世 主任研究員



新潟青陵大学 大学院
碓井 真史 教授

プロデューサー・・・中鉢 裕幸／大高 彰
脚本・監督・・・大熊 照夫
撮 影・・・松丸 武彦

制作協力・・・株式会社トライビジョンプロダクト
企画・制作・・・東映株式会社 教育映像部